

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	14-304	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
Differences in risk of injury in the U.S. general population by injury treatment type: data from the 1995 to 2010 national alcohol surveys. 損傷治療のタイプによる米国一般集団の損傷のリスクの相違: 1995～2010年のアルコール全国調査のデータから。		
執筆者		
Cherpitel CJ, Ye Y.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2014 Apr;38(4):1094-9. doi: 10.1111/acer.12347. Epub 2014 Jan 24.		
キーワード		PMID
外傷、救急医療、自動車事故、		24460796
要旨		
<p>背景: 救急部(ER)からの研究では損傷がアルコールの強い関連を明らかにしているが、これらの研究が一般集団を必ずしも代表するというわけではない。ERで治療を受けていない損傷(他で治療を受ける人または治療を受けない人)とERで治療を受けた損傷の比較のリスクを評価するために、アルコールと損傷に関するデータが損傷治療の種類によって、米国の一般集団で分析される。</p> <p>方法: イベントの前に6時間以内に飲むことからの損傷の相対リスク(RR)は、4つの(1995～2010)アルコール全米調査(n = 4,819)の回答者の通常の飲酒頻度に基づく症例交差分析を使用して分析された。</p> <p>結果: RRは、全体で1.01であった。ERでの治療負傷者(1.46)では有意に上昇したが、他(0.75)で治療を受けた人と治療を受けない(1.02)人では増加はみられない。RRは、18～30歳の人(1.45;1.14, 1.85)、黒人(1.54;1.11, 2.14)、そして、ヒスパニック(1.98;1.51, 2.59)、アルコール依存症としてのRapid Alcohol Problems Screen(RAPS4)の陽性者(2.41;1.86, 3.11)、そして、自動車損傷のために(2.61;1.49, 4.58)または切傷または刺傷(2.04, 1.10, 3.81)で有意に上昇したERにて治療をうけている損傷を報告している人では、18～30歳(RR = 2.29)、Blacks(RR = 2.59)、ヒスパニック(RR = 2.68)、高いリスクをいとわない者(RR = 1.71)、RAPS4陽性者(RR = 3.69)、そして、自動車事故(RR = 3.79)と切傷・刺傷損傷(RR = 2.60)で有意の効果変形が見つかった。</p> <p>結論: データは他の損傷のためより、ER治療が求められる損傷でアルコールがより大きい役割を演ずることを示唆する。そして、ER研究に由来する飲酒からの損傷の見積は過大になっている可能性がある。 社会における損傷にアルコールの起因性の負担の推定値を改善するためには、将来の一般の集団研究により、事前のアルコールへの暴露、潜在的想起バイアス(応じる面接の時間への損害の近くに関するデータを引き出す)と損傷の重症度を考慮しなければならない。</p>		